

## I 安全で環境負荷の少ない食品の生産・製造等の推進

| 施策                      | 取組項目                          | No | 取組内容          | R 2 の取組   | R 3 年度の方向性 (予定)  | 担当課等    |
|-------------------------|-------------------------------|----|---------------|---|--|---------|
| 1 生産段階における食品の安全性の確保への支援 | (1) 農産物の安全性確保に向けた継続的なGAP活用の推進 | 1  | 優良事例研修会の開催    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県及び関係団体のGAP指導者を対象とした研修会を開催し、37名が参加した。(6月17日、北上市)</li> <li>・農業者及び指導者等を対象に、先駆的にGAPに取り組む農業者の事例を紹介する研修会を4会場でリモート開催し、88名が参加した。(12月17日、盛岡市、北上市、陸前高田市、二戸市)</li> </ul>                | 継続<br>・これまでに養成したGAP指導者による実践指導<br>・認証取得意向の農業者からの指導要請への対応            | 農業普及技術課 |
|                         |                               | 2  | 生産部会へのGAP実践指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産部会等に対するGAPの導入による経営改善効果事例の提示、産地での実践を指導した。</li> <li>・農業者をモデルとして、GAPの実践及び認証取得の普及・拡大を図るため、取組事例紹介を行った。</li> <li>・農業大学校・農業高校におけるGAP教育の実施及び認証取得に向けた取組を支援し、3校がGAP認証取得した。</li> </ul> | 継続<br>・JAと連携し、生産部会等、団体での取組を推進<br>・農業教育機関における認証取得に向けた準備及び認証継続のための支援 | 農業普及技術課 |
|                         | (2) 家畜及び生産物の衛生的管理技術の支援        | 3  | 農場HACCPの導入支援  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農場HACCP推進農場の指定を受けている2経営体2農場(乳肉兼業1、肥育農場1)において、農場HACCP認証の取得を支援。</li> </ul>  | 継続<br>・引き続き推進農場の指定及び認証農場取得に向けた準備を支援                                | 畜産課     |
|                         |                               | 4  | 高品質生乳出荷の推進    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生乳サンプル13,161件(12月末現在)の検査を実施。</li> </ul>   | 継続<br>・引き続き生乳サンプルの検査を継続し、体細胞数の推移を監視                                | 畜産課     |

| 施策                            | 取組項目                                | No | 取組内容                         | R 2 の取組   | R 3 年度の方針性（予定）                    | 担当課等      |
|-------------------------------|-------------------------------------|----|------------------------------|---|-----------------------------------|-----------|
| 1 生産段階における食品の安全性の確保へ          | （2）家畜及び生産物の衛生的管理技術の支援               | 5  | 安全な鶏卵出荷の推進                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>採卵農場51戸の衛生管理の実施状況、自主検査成績等を把握・分析。</li> <li>分析結果を踏まえ、サルモネラ検査は実施せず。</li> </ul>  | 継続<br>・引き続き採卵農場の検査・指導を実施          | 畜産課       |
| 2 製造・加工、流通段階における食品の安全性の確保への支援 | （1）H A C C P の考え方に基づく衛生管理の普及        | 6  | 食品安全サポーターによる巡回・指導            | <ul style="list-style-type: none"> <li>重点取組対象施設を中心に食品安全サポーターによるHACCPシステムの考え方に基づく衛生管理導入の現場指導を実施。（立入施設数 計画5,000施設、上半期949施設）</li> </ul>  | 継続<br>・引き続き実施に取り組む                | 県民くらしの安全課 |
|                               |                                     | 7  | HACCPに関する研修会等の開催、HACCP取得への指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>各保健所において、衛生管理計画作成ワークショップを開催した。</li> <li>「HACCPプラン作成セミナー」を開催した（（一社）岩手県食品衛生協会に委託）。</li> </ul>  | 継続                                | 県民くらしの安全課 |
| 3 食の安全安心に関わる人材の育成             | （1）農薬の適正販売、安全使用を推進する農薬管理使用アドバイザーの育成 | 8  | 農薬管理使用アドバイザー養成研修の実施          | <ul style="list-style-type: none"> <li>農薬管理使用アドバイザー養成研修を2回開催し、併せて認定事務を実施した。（委員会2回開催）</li> <li>産直、卸売市場、集落営農組織の役員、無人航空機のオペレーター等関係者を対象に受講を誘導した。（7～12月）</li> <li>特に、産直組織へのアドバイザー配置を進めるため、普及センター等と連携して受講を誘導したり、無人マルチローター（ドローン）の販売店を対象に、新規オペレーターの受講を誘導するなどの取組を行った。</li> </ul> ※農薬管理使用アドバイザー認定目標1,300名維持 | 継続<br>・特に、産直組織等を対象に、養成・更新研修の受講を誘導 | 農業普及技術課   |
|                               |                                     | 9  | 農薬管理使用アドバイザーへの研修実施           | <ul style="list-style-type: none"> <li>農薬管理使用アドバイザー更新研修を開催した。（5回）</li> </ul>  | 継続                                | 農業普及技術課   |

| 施策                 | 取組項目                      | No | 取組内容                           | R 2 の取組  | R 3 年度の方針性（予定）                                     | 担当課等      |
|--------------------|---------------------------|----|--------------------------------|--|--|-----------|
| 3 食の安全安心に関わる人材の育成  | （2）食品の衛生管理を啓発する食品衛生推進員の育成 | 10 | 食品衛生推進員（食品安全サポーター）の委嘱          | ・ R2.6.2からR4.3.31までの委嘱期間で85名に委嘱し、各店舗への巡回指導等により営業者の自主衛生管理を推進した。 | 継続   | 県民くらしの安全課 |
|                    |                           | 11 | 食品衛生推進員の資質向上のための講習会の開催         | 新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ中止とした。（当初5月を予定）                           | 継続<br>・ 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催を検討し、引き続き資質の向上に取り組む | 県民くらしの安全課 |
|                    | （3）営業施設における食品衛生責任者の養成     | 12 | 食品衛生責任者養成講習会の実施（食品衛生管理者も対象に含む） | ・ 食品衛生責任者養成講習会を実施。（9回開催、512名を養成。）（12月末時点）                      | 継続<br>・ 引き続き食品衛生責任者の養成に取り組む                        | 県民くらしの安全課 |
|                    | （4）食品の適正表示を推進する者の養成       | 13 | 食品適正表示推進者養成講習会への講師派遣           | 新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ中止。                                       | 継続   | 県民くらしの安全課 |
| 4 環境負荷の少ない産地づくりの推進 | （1）環境負荷の少ない農業技術の普及拡大      | 14 | 環境に負荷が少ない施肥技術研修会の実施            | ・ 適正施肥研修会を開催した。（4回）<br>・ 適正施肥実証圃を設置した。（県内2カ所）                  | 継続<br>・ 引き続き、適正施肥の必要性を周知                           | 農業普及技術課   |

## Ⅱ 食品に関する信頼の向上と県民理解の増進

| 施策           | 取組項目                     | No | 取組内容                         | R 2 の取組   | R 3 年度の方向性（予定）                                  | 担当課等      |
|--------------|--------------------------|----|------------------------------|---|---|-----------|
| 5 食品の適正表示の推進 | (1) 食品表示に関する店舗への指導       | 15 | 食品表示に関する店舗への指導               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の事業者店舗について、表示点検を実施。</li> <li>・加工食品の原料原産地表示の義務化について周知を図った。</li> </ul>              | 継続<br>・新たな原料原産地表示制度の経過措置期間終了年度であるため、事業者への周知を図る。 | 県民くらしの安全課 |
|              |                          | 16 | 食品衛生法に基づく監視・指導と併せた食品表示制度の普及  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視時において適正な食品表示制度の普及に努めた。</li> </ul>   | 継続  | 県民くらしの安全課 |
|              | (2) 食品表示に関する相談の実施        | 17 | 食品表示110番の設置と県民から相談等の対応、指導の実施 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品表示110番の開設</li> <li>・食品表示専門員1名を配置した。</li> <li>・食品表示110番受理件数8件。</li> </ul>          | 継続<br>・引き続き専門員を配置し、適切な対応や指導に努める                 | 県民くらしの安全課 |
|              | (3) 食品表示ウォッチャーの委嘱と活動の充実  | 18 | 食品表示ウォッチャーの委嘱                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年5月20日から令和3年3月31日までの委嘱期間で32名に委嘱。</li> <li>・報告件数111件。（2回目までの合計。全4回報告。）</li> </ul> | 継続<br>・来年度も同人数程度に委嘱し、モニタリングを継続する                | 県民くらしの安全課 |
|              |                          | 19 | 食品表示ウォッチャー研修会の実施             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回研修会：（中止）令和2年5月20日当初予定</li> <li>・第2回研修会：令和2年8月7日開催</li> </ul>                     | 継続<br>・ウォッチャーの資質向上に取り組む                         | 県民くらしの安全課 |
|              | (4) 食品の適正表示を推進する者の養成（再掲） | 20 | 食品適正表示推進者養成講習会への講師派遣         | （再掲 施策3(4)）<br>・新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ中止。  | 継続  | 県民くらしの安全課 |

| 施策                   | 取組項目                          | No | 取組内容                   | R2の取組  | R3年度の方向性（予定）  | 担当課等            |
|----------------------|-------------------------------|----|------------------------|--|---|-----------------|
| 5 食品の適正表示の推進         | (5) 不当な表示や過大な景品類の提供に対する指導     | 21 | 事業者への指導等               | ・指導等が必要な事案が発生した際に、適宜対応する。<br>(「食」関係指導事案なし ※R2.12月末現在)  | 継続  | 県民生活センター        |
|                      |                               | 22 | 景品表示法に関する消費者教育（出前講座等）  | ・出前講座（随時、講師派遣の要望があった都度実施）等において景品表示法の周知を行った。<br>(出前講座実績：18回（参加者595人）※R2.12月末現在)   | 継続  | 県民生活センター        |
|                      | (6) 食品の虚偽又は誇大広告に関する指導         | 23 | 食品の虚偽又は誇大広告に関する重点監視の実施 | ・痩身・強壮用健康食品及び指定薬物の含有が疑われる物の買上調査を実施した。（8品目）<br>・薬事監視員と食品衛生監視員が連携し、監視指導を実施した。  | 継続  | 健康国保課、県民くらしの安全課 |
|                      |                               | 24 | 健康被害に関する県民への注意喚起       | ・「健康食品」による健康被害（又は疑い）が発生した場合は、県民に対する注意喚起を実施する（令和2年度は事案なし）。  | 継続  | 健康国保課、県民くらしの安全課 |
| 6 食品の信頼向上のための相互理解の増進 | (1) 食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの実施 | 25 | リスクコミュニケーションの実施        | ・劇場型リスクコミュニケーション<br>①食物アレルギーと食の安全安心を考える会（11/26、39人）<br>・リスクコミュニケーション講師育成講座（1/22）<br>・講座型リスクコミュニケーション（食の安全安心を考える講座）<br>①食中毒（12/18、14名）<br>②食品表示（12/18、21名）<br>③食品安全（1/22） | 継続<br>・劇場型で多くの県民が参加できる機会を確保するとともに、質問や対話がしやすい講座型の開催を継続 | 県民くらしの安全課       |
|                      | (2) 食の安全安心に関する出前講座等の実施        | 26 | 出前講座の開催や講師派遣の実施        | ・40回実施、延1,117名受講。<br>(テーマ：食中毒、食品表示、HACCP等)   | 継続<br>・要望テーマに合わせた適切な講師の派遣                             | 県民くらしの安全課       |

| 施策                        | 取組項目                              | No | 取組内容                                     | R2の取組   | R3年度の方向性（予定）  | 担当課等      |
|---------------------------|-----------------------------------|----|--|---|---|-----------|
| 6 食品の信頼向上のための相互理解の増進      | (3) 食品に関するトレーサビリティ制度の普及           | 27 | ・県広報媒体による周知活動<br>・広報等を活用した普及啓            | ・制度について、ホームページ等で引き続き周知を図った。<br>・国と連携し、食品事業者等を対象に、必要に応じて指導を行った。  | 継続<br>・制度について、ホームページ等で引き続き周知を図る。<br>・国と連携し、食品事業者等を対象に、必要に応じて指導を行う。    | 流通課       |
|                           | (4) フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）の推進  | 28 | FCP参加企業の募集とセミナー開催による普及啓発                 | ・FCP岩手 brunchの加入促進<br>（ホームページ、メーリングリスト等での周知）<br>会員数 94社（R2 加入4社 退会1社）<br>・セミナー開催等<br>R2 11.12 盛岡市 39名（会場参加者24名、Zoom参加者15名）<br>R3 1.26 盛岡市 120名（会場20名、オンライン100名の予定）<br>R2～3 ネットショップ開業セミナー（全4回動画配信） | 継続<br>・引き続きFCP岩手 brunchの加入促進に努めるとともに、セミナーの開催や「見える化」シートを活用し、事業者間連携等を図る | 産業経済交流課   |
| 7 自主回収報告制度による食品回収情報の適切な提供 | (1) 自主回収報告制度による回収の促進及び県民への迅速な情報提供 | 29 | 本県事業者の自主回収報告制度による迅速かつ適切な回収と自主回収情報の県民への提供 | ・自主回収着手報告件数8件について、管轄保健所において適切な指導を行ったほか、県民くらしの安全課において速やかにホームページに掲載した。（12月末時点）  | 継続<br>・事業者の適切な指導に努め、ホームページへの掲載等により県民への周知を図る                           | 県民くらしの安全課 |
|                           | (2) 他都道府県の自主回収情報の県民への提供           | 30 | 本県に流通する他県事業者の自主回収情報の収集と公表                | ・他の自治体から情報提供のあった自主回収情報のうち、報告を行った食品等事業者が公表を希望する自主回収情報については、速やかにホームページに掲載する。  | 継続（次期計画ではNo.29に統合）  | 県民くらしの安全課 |

| 施策                        | 取組項目                      | No | 取組内容                          | R 2 の取組  | R 3 年度の方 向 性（予定）                                  | 担当課等                 |
|---------------------------|---------------------------|----|-------------------------------|--|---|----------------------|
| 8 食育を通じた食の安全安心に関する知識の普及啓発 | (1) 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進 | 31 | 食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの実施（再掲） | （再掲 施策6(1)）<br>・ 劇場型リスクコミュニケーション<br>①食物アレルギーと食の安全安心を考える会（11/26、39人）<br>・ リスクコミュニケーション講師育成講座（1/22）<br>・ 講座型リスクコミュニケーション（食の安全安心を考える講座）<br>①食中毒（12/18、14名）<br>②食品表示（12/18、21名）<br>③食品安全（1/22） | 継続  | 県民くらしの安全課            |
|                           |                           |    |                               | （再掲 施策6(2)）<br>・ 40回実施。<br>（テーマ：食中毒、食品表示、HACCP等）   | 継続  | 県民くらしの安全課            |
|                           |                           | 33 | 食品の安全性等に関する情報の提供              | 【環境生活企画室】<br>・ 県の放射線影響対策の取組や県産食材の放射性物質濃度検査結果等について、ホームページや県政広報誌「いわてグラフ」で情報を発信。<br>・ 放射線影響対策に係る県の取組をとりまとめた「岩手県放射線影響対策報告書」を発行。  | 【環境生活企画室】<br>継続<br>・ 引き続き県民等の不安の解消や風評被害の払拭に向け取り組む | 関係各室課<br>【環境生活企画室】   |
|                           |                           |    |                               | 【環境保全課】<br>・ 県で作成した放射線の基礎知識にかかるリーフレットを活用した普及啓発。  | 【環境保全課】<br>継続                                     | 関係各室課<br>【環境保全課】     |
|                           |                           |    |                               | 【県民くらしの安全課】<br>・ 食の安全安心DVD等による情報発信。<br>・ 食中毒予防リーフレットの配布。<br>・ テイクアウト・デリバリーの注意喚起についてホームページに掲載。  | 【県民くらしの安全課】<br>継続<br>SNS、メールマガジンの活用               | 関係各室課<br>【県民くらしの安全課】 |



| 施策                        | 取組項目                       | No | 取組内容                                 | R2の取組   | R3年度の方針性（予定）                                    | 担当課等    |
|---------------------------|----------------------------|----|--------------------------------------|---|---|---------|
| 8 食育を通じた食の安全安心に関する知識の普及啓発 | (1) 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進  | 34 | 食育担当者等を対象とした研修会の開催（学校における食育の推進）      | （食育推進計画に同じ）<br>・ 初任者研修（栄養教諭）やホームページ等を通じて、食に関する指導の実践事例を紹介するなど、学校における食育の推進を支援した。<br>・ 食育推進研修会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。（7/31 岩手県公会堂） | 継続  | 保健体育課   |
|                           |                            | 35 | 学校における食育教材の活用促進（学校における食育の推進）         | （食育推進計画に同じ）<br>・ 初任者研修（栄養教諭）等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図った。<br>・ 食育推進研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。（7/31岩手県公会堂）                             | 継続  | 保健体育課   |
|                           |                            | 36 | 食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置（学校における食育の推進） | （食育推進計画に同じ）<br>・ 研修会等で食に関する指導の在り方や全体計画作成を紹介するなど、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援した。<br>・ 食育推進研修会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。（7/31 岩手県公会堂）     | 継続  | 保健体育課   |
|                           | (2) 食育などを通じた農林水産業に対する理解の増進 | 37 | 学校等における農林漁業体験学習の支援                   | ・ 農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。<br>（計画件数約110件、計画人数約23,000人）  | 継続  | 農林水産企画室 |
|                           |                            | 38 | 酪農体験等の学習支援                           | ・ 「酪農出前教室」未実施の小学校を中心に、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施した（14の小学校で実施）。   | 継続<br>・ 「酪農出前教室」未実施の小学校を中心に、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施予定 | 流通課     |



| 施策                        | 取組項目                      | No | 取組内容                      | R 2 の取組  | R 3 年度の方角性（予定）  | 担当課等 |
|---------------------------|---------------------------|----|---------------------------|--|---|------|
| 8 食育を通じた食の安全安心に関する知識の普及啓発 | （2）食育などを通じた農林水産業に対する理解の増進 | 39 | 生産者と消費者の結び付きを深めた地産地消取組の支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食のプロフェッショナルチームアドバイザーの派遣等により、産直施設等（3施設）の運営強化の取組や生産者、食品事業者との連携を支援した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により変化した消費者ニーズに対応した新商品開発を推進した（県産短角牛及びヒラメを使用した「いわて茶漬け」）。</li> <li>・地産地消促進計画未策定の市町村（2か所）を訪問し、策定を働きかけた。</li> <li>・「いわて地産地消給食実施事業所」（R2.11末現在で82事業所）及び「いわて地産地消弁当」（R2.11末現在で22個）の認定を実施するとともに、ホームページ等を活用し地産地消情報を発信した。</li> <li>・学校栄養教諭等に対する研修を実施した（2回）。</li> </ul> | <p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザー派遣等により、産直施設等の運営強化の取組や生産者、食品事業者の連携を支援</li> <li>・県内各市町村に対して、地産地消促進計画の早期策定を働きかける</li> <li>・「いわて地産地消給食実施事業所」及び「いわて地産地消弁当」の認定を実施するとともに、ホームページ等を活用し、地産地消情報を発信</li> <li>・学校栄養教諭等に対する研修を実施</li> </ul> | 流通課  |

Ⅲ 監視・指導の強化等による安全安心を支える体制の充実

| 施策              | 取組項目                                | No | 取組内容                    | R 2 の取組  | R 3 年度の方針性（予定）  | 担当課等    |
|-----------------|-------------------------------------|----|-------------------------|--|---|---------|
| 9 生産段階における監視・指導 | （１）農薬使用者、販売者に対する農薬適正使用の指導           | 40 | 農薬適正使用研修会の開催            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬適正使用研修会を開催し、計35名が参加した。（６月26日、北上市）</li> <li>・農薬危害防止運動を実施した。（６～８月）</li> <li>・産直組織、卸売市場等への農薬適正使用重点指導を実施した。（６～12月）</li> <li>・冬期間の施設栽培葉菜類における農薬適正使用を重点的に指導した。（９～12月）</li> </ul> | 継続<br>・農薬危害防止運動を実施<br>・農薬管理使用アドバイザーの認定誘導と併せて、産直・市場出荷者等への指導を継続 | 農業普及技術課 |
|                 | （２）飼料、動物用医薬品の適切な管理・適正な使用の指導         | 41 | 飼料の安全性試験の実施             | ・10事業場10点の飼料について肉骨粉の混入について鑑定を実施。   | 継続<br>・引き続き飼料の安全性試験を実施  | 畜産課     |
|                 |                                     | 42 | 動物用医薬品使用実態調査の実施         | ・32農場に対して動物用医薬品の使用実態調査を実施。   | 継続<br>・引き続き動物用医薬品の使用実態を調査し、違反事例がないか監視                         | 畜産課     |
|                 | （３）家畜伝染性疾患の発生予防、まん延防止のための各種疾患の検査・監視 | 43 | サーベイランスの実施              | ・サーベイランスを実施し、伝染性疾患の発生状況を監視。<br>・サーベイランス対象疾患及び検査件数<br>①結核 1,063件、②ブルセラ症 1,063件、③B S E 1,533件、④H P A I 1,680件を実施。  | 継続<br>・引き続きサーベイランスを実施し、伝染病の発生状況を監視                            | 畜産課     |
|                 |                                     | 44 | 農場への監視・指導               | ・上記検査にあわせ、農場の飼養衛生管理基準の遵守状況を確認し、必要に応じて改善指導を実施。  | 継続<br>・引き続き農場の飼養衛生管理基準の遵守状況を確認し、必要に応じて改善指導を                   | 畜産課     |
|                 | （４）水産物の衛生管理に係る指導                    | 45 | 衛生管理研修会講習会の開催、衛生管理の現場指導 | ・水産物の安全性を確保するため、高度衛生品質管理地域づくりに取り組む市町村の地域計画の実行支援や、衛生管理研修会の開催、専門のアドバイザーによる衛生指導等により各段階でのIF r HACCPの導入を促進した。   | 継続  | 水産振興課   |

| 施策                     | 取組項目                     | No | 取組内容                    | R 2 の取組   | R 3 年度の方針性（予定）                                  | 担当課等      |
|------------------------|--------------------------|----|-------------------------|---|---|-----------|
| 9 生産段階における監視・指導        | （５）貝毒の監視等に係る指導           | 46 | 貝毒の監視等（貝毒検査、出荷規制等）に係る指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の貝毒管理措置要綱等に基づき、県漁業協同組合連合会と連携し、引き続き漁協に対して監視等の徹底を指導した。</li> <li>（貝毒原因プランクトンの監視、業界による自主検査、規制値を超えた場合の出荷規制等）</li> <li>・引き続き貝毒原因プランクトンおよび貝毒の監視を実施し、必要に応じて改善指導を実施した。</li> </ul> | 継続<br>・引き続き貝毒原因プランクトンおよび貝毒の監視を実施し、必要に応じて改善指導を実施 | 水産振興課     |
|                        | （６）ノロウイルスの監視等に係る指導       | 47 | ノロウイルスの監視等（出荷前検査）に係る指導  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県と業界の対応指針に基づき、県漁業協同組合連合会と連携し、引き続き漁協に対して監視等の徹底を指導した。</li> <li>（業界による自主検査、ノロウイルスが検出された場合の出荷自粛等）</li> <li>・引き続き生力キのノロウイルスの監視を実施し、必要に応じて改善指導を実施した。</li> </ul>                 | 継続<br>・引き続き生力キのノロウイルスの監視を実施し、必要に応じて改善指導を実施      | 水産振興課     |
| 10 製造・加工、流通段階における監視・指導 | （１）県内流通食品に対する検査及び監視・指導   | 48 | 食品衛生監視員による施設監視          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各保健所の食品衛生監視員が食品関係営業施設の監視指導を計画的に実施。</li> </ul> 監視率 62.1%（12月末時点）   | 継続  | 県民くらしの安全課 |
|                        |                          | 49 | 食品衛生監視員による事業者への講習会の実施   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各保健所の食品衛生監視員が計画的に、事業者に対し衛生講習会を開催。</li> </ul> （133回、2,933人）（12月末時点）  | 継続  | 県民くらしの安全課 |
|                        | （２）食品における残留農薬や添加物等の検査の実施 | 50 | 流通食品の収去検査の実施            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各保健所の食品衛生監視員が収去検査を計画的に実施。</li> </ul> （811検体）（12月末時点）（※うち基準値違反1件 残留農薬基準超過）   | 継続<br>・引き続き流通食品の検査を実施し、必要に応じ指導を実施する             | 県民くらしの安全課 |
|                        |                          | 51 | 残留農薬や遺伝子組換え食品に係る収去検査    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・残留農薬80検体、遺伝子組換え食品6検体、収去検査を実施。（12月末時点）</li> </ul> （※うち基準値違反1件 残留農薬基準超過 県内産野菜）  | 継続  | 県民くらしの安全課 |

| 施策                     | 取組項目                                       | No | 取組内容                        | R 2 の取組  | R 3 年度の方針性（予定） | 担当課等            |
|------------------------|--|----|-----------------------------|--|----------------|-----------------|
| 10 製造・加工、流通段階における監視・指導 | （３）食品表示に関する店舗への指導（再掲）                      | 52 | 食品表示に関する店舗への指導              | （再掲 施策５（１））<br>・県内の事業者店舗について、表示点検を実施。<br>・加工食品の原料原産地表示の義務化について周知を図った。          | 継続             | 県民くらしの安全課       |
|                        |  | 53 | 食品衛生法に基づく監視・指導と併せた食品表示制度の普及 | （再掲 施策５（１））<br>・監視時において適正な食品表示制度の普及に努めた。                                       | 継続             | 県民くらしの安全課       |
|                        | （４）「健康食品」による健康被害の防止のための監視・指導等              | 54 | 食品・薬務合同監視指導等                | ・各保健所の薬事監視員と食品衛生監視員が連携し、監視指導を実施。<br>・痩身・強壮用健康食品及び指定薬物の含有が疑われる物の買上調査を実施した。（４品目） | 継続             | 健康国保課、県民くらしの安全課 |
|                        |  | 55 | 県民への健康食品に関する普及啓発            | ・各保健所にリーフレットを配架するなど、県民への普及啓発を図った。  | 継続             | 健康国保課、県民くらしの安全課 |
|                        | （５）と畜検査・食鳥検査等の適正実施及びと畜場、食鳥処理場に対する衛生的な処理の指導 | 56 | と畜場及び食鳥処理場への監視指導            | ・岩手県食品衛生監視指導計画に基づき計画的に監視指導を実施。<br>（と畜場９件、食鳥処理場２４件）１２月末時点                       | 継続             | 県民くらしの安全課       |
|                        |  | 57 | と畜場及び食鳥処理場の作業従事者への衛生講習会の実施  | ・作業従事者に対して計画的に衛生講習会を開催。<br>（と畜場２３回２８９人、食鳥処理場１２回４５５人）１２月末時点                     | 継続             | 県民くらしの安全課       |

| 施策                     | 取組項目                         | No | 取組内容                       | R 2 の取組   | R 3 年度の方針性（予定）                     | 担当課等               |
|------------------------|------------------------------|----|----------------------------|---|------------------------------------|--------------------|
| 10 製造・加工、流通段階における監視・指導 | （6）大規模イベントに向けた監視指導等の強化       | 58 | 次期大規模イベントに向けた飲食店関係施設への立入指導 | ・大規模イベントでの食品事故発生防止に努める（該当イベント無しの為、実績なし）   | 継続<br>・大規模イベントでの食品事故発生防止に努める       | 県民くらしの安全課          |
|                        | （7）野生鳥獣肉に係る衛生管理の監視・指導        | 59 | 野生鳥獣肉の処理を行う施設への立入指導        | ・野生鳥獣肉の処理を行う施設 1 施設に対し、立入指導を実施（4 回）。  | 継続                                 | 県民くらしの安全課          |
| 11 輸入食品に対する監視・指導       | （1）輸入食品に対する収去検査と監視・指導        | 60 | 輸入食品の収去検査                  | ・輸入食品について、26 検体の収去検査を実施し、違反なし。（12 月末時点）   | 継続<br>・引き続き流通食品の検査を実施する            | 県民くらしの安全課          |
|                        |                              | 61 | 輸入業者事務所等への立入指導             | ・輸入事業者に対し、立入指導を実施。違反事例なし。   | 継続                                 | 県民くらしの安全課          |
|                        | （2）国との連携による輸入食品に関する検査等の情報の提供 | 62 | 国の検疫所等における検査等の情報収集、提供      | ・岩手県食品衛生監視指導計画に基づき県が行った、輸入食品等に関する収去検査結果をホームページにて公表。（26 検体の収去検査を実施し、違反なし）（12 月末時点） | 継続<br>・引き続き公表する                    | 県民くらしの安全課          |
| 12 危機管理体制の充実           | （1）食に関する危機管理対策の運用と訓練の実施      | 63 | 危機管理訓練等の実施                 | 【総合防災室】<br>・訓練等の支援。   | 継続                                 | 総合防災室              |
|                        |                              |    |                            | 【県民くらしの安全課】<br>・高病原性鳥インフルエンザ家畜防疫作業支援班員の研修会を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面等により開催した。         | 継続<br>【県民くらしの安全課・畜産課】<br>・班員の理解を増進 | 関係各室課<br>県民くらしの安全課 |

| 施策           | 取組項目                     | No | 取組内容               | R 2 の取組  | R 3 年度の方向性（予定）   | 担当課等                       |
|--------------|--------------------------|----|--------------------|--|--|----------------------------|
| 12 危機管理体制の充実 | (1) 食に関する危機管理対策の運用と訓練の実施 | 63 | 危機管理訓練等の実施         | 【畜産課】<br>・高病原性鳥インフルエンザ家畜防疫支援班長を対象に業務内容を資料にて周知  | 【畜産課】<br>継続<br>・R2年度末改正予定の豚熱及びアフリカ豚熱防疫マニュアル（防疫班マニュアル）に基づき現地統括訓練を開催 | 畜産課                        |
|              |                          | 64 | 危機管理に関するマニュアル等の整備  | 【総合防災室】<br>・マニュアル整備等の支援。   | 継続   | 総合防災室                      |
|              |                          |    |                    | 【県民くらしの安全課・畜産課】<br>・高病原性鳥インフルエンザ家畜防疫作業支援班設置要領に基づく班長21名及び班員630名体制を整備。また、本部及び地方支部における危機警戒連絡網を整備。 | 【県民くらしの安全課・畜産課】<br>継続<br>・有事の際の迅速な対応のため、整備を推進                      | 関係各室課<br>県民くらしの安全課、<br>畜産課 |
|              |                          | 65 | 食中毒対策緊急連絡訓練の実施     | ・食中毒対策緊急連絡訓練 1回実施<br>・食中毒等緊急連絡名簿の更新の実施（人事異動等による）   | 継続   | 県民くらしの安全課                  |
|              | (2) 食中毒等発生時における被害の拡大防止   | 66 | 危機対策の実施による被害の拡大防止  | ・関係機関と情報共有及び連携を保ち、発生時における迅速な対応を図るとともに、リーフレット配付等により飲食店及び消費者への注意喚起を実施。<br>（食中毒発生件数14件）           | 継続   | 県民くらしの安全課                  |
|              | (3) 災害発生時の食の安全安心の確保      | 67 | 災害に備えた食料の備蓄        | ・岩手県災害備蓄指針に基づく計画的な備蓄の実施。<br>・県民や事業所へ備蓄を進めるための広報（ホームページなど）の実施。                                  | 継続   | 総合防災室                      |
|              |                          | 68 | 災害発生時食品衛生マニュアル等の整備 | ・災害が発生した場合は、食中毒防止や被害拡大等の対策に取り組む。   | 継続   | 県民くらしの安全課                  |

| 施策                      | 取組項目                           | No | 取組内容                                     | R 2 の取組   | R 3 年度の方針性（予定）                                   | 担当課等               |
|-------------------------|--------------------------------|----|--|---|--|--------------------|
| 13 食品の安全性確保等に関する調査研究の推進 | （１）残留農薬や動物用医薬品の分析法開発等に関する研究の推進 | 69 | 残留農薬等の高感度分析手法の開発                         | ・厚生労働省が残留農薬等の試験法を開発するために実施する事業に参加し、多成分を一斉に分析する方法の妥当性評価を実施した。<br>・残留農薬等の迅速かつ効率的な分析を可能とするため、試験方法（前処理方法）を改良するための研究を実施した。                     | 継続   | 環境保健研究センター         |
|                         | （２）食品中のノロウイルス検出法・不活化に関する研究の推進  | 70 | ノロウイルスについて高圧処理と他の方法との組み合わせによるウイルス不活化法の開発 | 令和元年度で終了  | 令和元年度で終了   | 環境保健研究センター         |
| 14 情報の提供と相談体制の充実        | （１）食品の安全安心に関する情報の発信            | 71 | 情報発信                                     | （再掲 施策 8（1））<br>【環境生活企画室】<br>・県の放射線影響対策の取組や県産食材の放射性物質濃度検査結果等について、ホームページや県政広報誌「いわてグラフ」で情報を発信。<br>・放射線影響対策に係る県の取組をとりまとめた「岩手県放射線影響対策報告書」を発行。 | 【環境生活企画室】<br>継続<br>・引き続き県民等の不安の解消や風評被害の払拭に向け取り組む | 関係各室課<br>【環境生活企画室】 |
|                         |                                |    |  | 【環境保全課】<br>（再掲 施策 8（1））<br>・県で作成した放射線の基礎知識にかかるリーフレットを活用した普及啓発。  | 【環境保全課】<br>継続                                    | 関係各室課<br>【環境保全課】   |



| 施策               | 取組項目                       | No | 取組内容                         | R 2 の取組   | R 3 年度の方向性（予定）   | 担当課等                 |
|------------------|----------------------------|----|------------------------------|---|--|----------------------|
| 14 情報の提供と相談体制の充実 | (1) 食品の安全安心に関する情報の発信       | 71 | 情報発信                         | <p>【県民くらしの安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品に関する信頼の向上と魅力ある岩手の食を提供する調理師の資質向上等を図るため、優良調理師岩手県知事表彰を開催。（10/29 参加者60名）（再掲 施策8(1)）</li> <li>・食の安全安心DVD等による情報発信。</li> <li>・県ホームページ等による食中毒注意喚起の情報提供を行った。</li> </ul>       | <p>【県民くらしの安全課】</p> <p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著名料理人による講演会の実施</li> </ul>             | 関係各室課<br>【県民くらしの安全課】 |
|                  | (2) 食品に関する相談の実施（一部再掲）      | 72 | 食品表示110番の設置と県民から相談等の対応、指導の実施 | <p>（再掲 施策5(2)）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品表示110番の開設</li> <li>・食品表示専門員1名を配置した。</li> <li>・食品表示110番受理件数8件。</li> </ul>   | 継続   | 県民くらしの安全課            |
|                  | (3) 食品衛生監視員の資質向上           | 73 | 研修計画に基づく研修の実施                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国及び関係機関主催研修 7人（集合研修の他、誌上発表、オンライン研修参加を含む）</li> <li>・新任食品衛生監視員研修 6人</li> </ul>  | 継続   | 県民くらしの安全課            |
|                  | (4) 県産食材等の放射性物質検査及び検査結果の公表 | 74 | 放射性物質検査及び検査結果の公表             | <p>【環境生活企画室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産食材の放射性物質濃度検査結果等について、ホームページや県政広報誌「いわてグラフ」で情報を発信。</li> </ul>   | <p>【環境生活企画室】</p> <p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き県民等の不安の解消や風評被害の払拭に向け取り組む</li> </ul> | 関係各室課<br>【環境生活企画室】   |
|                  |                            |    |                              | <p>【農林水産企画室等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産農林水産物について、四半期毎に作成する「県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画」に基づき、放射性物質濃度の検査を実施。<br/>検査件数：4,618件 うち基準値超過件数0件（令和2年11月末現在）</li> <li>・検査計画は、国の「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」に基づき策定。</li> </ul> | <p>【農林水産企画室等】</p> <p>継続</p>  | 関係各室課<br>【農林水産企画室等】  |

| 施策               | 取組項目                      | No | 取組内容             | R 2 の取組   | R 3 年度の方方向性（予定）                                    | 担当課等                            |
|------------------|---------------------------|----|------------------|---|--|---------------------------------|
| 14 情報の提供と相談体制の充実 | （４）県産食材等の放射性物質検査及び検査結果の公表 | 74 | 放射性物質検査及び検査結果の公表 | <p>【県民くらしの安全課】</p> <p>・流通食品について、岩手県食品衛生監視指導計画に基づき、収去検査を計画的に実施し、食品中の放射性物質濃度の測定を実施した。</p> <p>（検査件数145件 うち基準値超過件数0件）12月末時点</p> | <p>【県民くらしの安全課】</p> <p>継続</p> <p>・流通食品に関する検査の継続</p> | <p>関係各室課</p> <p>【県民くらしの安全課】</p> |